

3500

1 「んっ…」

2 「あ、先輩の靴がない…」

3 「そっか、私が待つから、逆に早く帰るようにしたんですね…」

4 「はは、関わらないって言うておきながら、未練タラタラじゃ

ん、私…」

5 「…どうしよ、どっか寄って帰ろっかな…」

6 「…いいや、一人だとつまないし…えっ。」

7 「今、先輩の名前が…っ。」

8 「あ、あの！すいません！」

9 「あっ、私一年生で、えと、その…先輩に何かあったんですか？」

10 「…たい…がく？」

11 「えっ…どういことですか…退学って、学校をやめたってことで

すか…？」

12 「…暴力事件…？」

13 「…うそ…そんなわけない…だって先輩は…」

14 「っ！あの！もっと詳しく聞いていいですか！なんで先輩が…」

15 「…そう、ですか。」

16 「…えっ、とんでもないです、教えていただきありがとうございます。」

す。」

17 「はあ…はあ…」

18 「…暴力事件？温厚で優しい先輩が…？」

19 「絶対何か理由があるはず…もしかしたら私を無視してたことにも関係が…」

20 「…っ、そうだ…」

21 【作中時間経過 編集で4秒ほど開ける】

22 【ドアコンコンSE】

23 へ緊張 たかなしかのん
「し、失礼します、一年A組の、小鳥遊
かのん、です…」

24 「生徒指導の先生は、いらっしゃいますか…あつ。」
「うん」
「うん」

25 「はじめまして…突然すいません…」

26 「…あの、3年生の暴力事件について、聞きたくて…」

27 「っ、先輩がその、退学になったって、さっきはじめて知って…」

28 「…いや、恋人ではないです…友達…っていてもいいか…」

29 「…でも、大切な人なんです、だからせめて、理由が知りたくて…」

30 「…はい、連絡しても、既読すら…」

31 「…お、お願いします！個人情報なのはわかります、でも、このま

まじや、何にもわかんないまま、先輩と離れることに…」

32 「…っ、ありがとうございますっ！」

33 「別室で…？は、はい、了解です…」

34 「職員室じゃ話せない内容なのかな…けど、これで本当の理由

が…」
ツX

35 【作中時間経過 編集で1秒ほど開ける】

36 リベンジ…ポルノ…？」

37 「え、先輩がそれを止めたんですね、先輩は正しいことをした

んですね？」

38 「怪我をさせたからって…そんなのおかしいですよ！先輩だけ退

学なんて！」

39 「大体、あんなヒヨロヒヨロの先輩、怒ったところで…っ。」

40 「…その、動画をみせて、停学になった3年生の名前って…」

41 「元力Xの名前だったV」…あつ。」

42 「…そう、なんですネ…」

43 「いえ、少し、面識のある人だったので…」

44 「…あの！」

45 「動画は消えて…その女の子は救われたんですね？」

46 「…なら、よかったです。」

47 「…色々ありがとうございます、本当の理由が知れて、胸のつかえが取れました。」

48 へ先生のまえでは泣くのを我慢してるV
ど、やろうとしたことは間違ってたんだって、
たので…」
先輩は方法を間違えたけど、
そう分かったの」

49 「…はい、もちろん他言無用で…貴重なお時間、ありがとうございましたっ。」

50 【去っていくSEとドアを閉めるSE】

51 「…ぐずっ…」

52 「…ばか、ばかばかばかばか…先輩のばかあっ！」

53 「何してるんですか…大事な3年生の時期に…」

54 「だから帰りが遅かったんだ…だから私を無視してたんだ…」

55 「…もし私が知ったら、動画の被害者が私だって、気づいちゃうから…」

56 「…だからって、こんな、こんなあ…」

57 へ子供みたいな泣き4秒ADV

58 「ばか！先輩のばか！どこまでコミュ障なんですか、もっと、もっと他の方法があ…ぐずっ…」

59 「ばか…ばかばかばかばか、私のバカア…」

60 「先輩の気持ちも知らないで、自分のことばかりで、ずっと、ずっととお…」

61 へ子供みたいな泣き、所々疲れてくる時もあり8秒ADV

【フェードアウトかけておしまい】